

case. 宇部市

# 15 個人住宅①



住宅



住宅



## 思い出を残しながらも 暮らしやすい家へ

### リノベーション内容

Before



After



歪みが生じていた柱や基礎の修理を行った。床組が沈んでいたため調整を行い、ほぼ水平の位置まで戻した。

Before



After



和室をLDKに改修、古い天井を取り除き隠れていた大きな梁をみせるようにした。高い位置に窓を設け、以前は暗かった北側の部屋に適度な明るさを確保した。

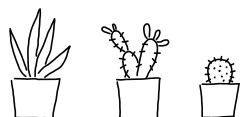
# リノベーション ストーリー

renovation story

私は、サラリーマン時代に日本全国転勤を繰り返しながら働きましたが、定年退職後に地元に戻ろうと考えました。その際、ご先祖さまから受け継がれたこの家をこれからも大切にしながら、家族が末永く快適に住まえる空間としたいという思いで、大正時代に建てられた築100年余りの祖父宅の改修を決めました。それから、工務店に相談し改修を始めました。改修していくうちに、私の祖父との思い出やこの場所で過ごしてきたいろんな人の思いを感じるものが出てきましたので、雰囲気は壊さずそれでいて安心して暮らせることのできる住宅を目指して進めていきました。古民家の改修なので思っていたことが実現できないこともありましたがその分、古き良き部分を残しながら住みやすくすることができたので、とても満足しています。



## 利活用までの スケジュール



schedule

● 2015	工務店と打ち合わせ
● 2015.12	納屋から着工
● 2016.2	納屋のリノベーション完了
● 2016.3	母屋着工
● 2016.7	母屋が完了し、リノベーション完了

## こだわりポイント



### 素材の良さと思い出を活かすリノベーション

柱や梁は古い木の風合いを生かし自然塗料で塗装しました。納屋の特徴である大きな梁や柱、土壁、土間など古くて味わい深い素材の良さを最大限に引き出しながら新しいものとの融合を図りました。キッチン後ろの収納の戸は、以前玄関収納で使われていた戸を再利用し、戸に書かれている私の子どもの頃の落書きはあえて懐かしい思い出として残しました。